



寺報

2018年(平成30年)

No. 268

3月号

Zenkyo-ji monthly
Communications Paper
En [えん]

縁

なるほど その9 本願寺

御影堂門

親鸞聖人600回大遠忌を前に、1859(安政6)年に大阪の講社(こうしゃ)が担当し修理。1960(昭和35)年、親鸞聖人700回大遠忌を前に修理されました。また、2006(平成18)年から2009(平成21)年にかけて、親鸞聖人750回大遠忌を前に、築地塀と併せて石工事・屋根工事・金物工事などが実施されました。屋根工事では瓦の葺き替えを実施し、再用する旧瓦は南面にまとめられています。



手水舎(ちょうずや)

©Hongwanji



御影堂門

© Hongwanji

手水舎(ちょうずや)

破風板には銹金具を付けており、四周を開放し花崗岩の四半敷で中央に石製の井戸と水盤を据えています。軸部は方形礎盤に几帳面取角柱を立て、内法虹梁(うちのりこうりょう)で繋ぎ、柱頂部の舟肘木と内法虹梁上の幕股(かえるまた)で受け、鏡天井を張っています。2010(平成22)年に修復されました。



勇猛果敢な消防士さん達のお陰で、無事に鎮火(消防訓練終了)。消防士さんの尽力される姿に敬服すると同時に、改めて火災予防に努める大切さを思い知らされました。



善教寺の裏山から出火:「と伝えるように言われたのですが、いざ119番に電話する段になると急に緊張してきました。これが訓練じゃなかつたら、果たして、119番に電話して、冷静に状況を話すことが出来るか?と、心配になつたほどです。

住職レター

今年の冬は、尋常ではない厳しい寒さが続きました。立春を過ぎてもまだまだ寒いですが、体調いかがですか?

極寒の中、二月十二日、消防訓練が行われました。地元の消防団を中心に、近隣の消防団と東広島消防署も駆けつけて下さり、緊張感の中、実施されました。午前十時、私が119番へ電話し、消防訓練スタート。「消防訓練です。